

国民健康保険魚沼市立小出病院超音波診断装置購入 仕様書

第1 構成機器及び数量

超音波診断装置 1 台
セクタプローブ 1 本
リニアプローブ 1 本
コンベックスプローブ 1 本
白黒デジタルプリンタ 1 台
ゲルウォーマー 1 台
超音波画像解析装置 1 台

第2 設置場所

国民健康保険魚沼市立小出病院（以下「小出病院」という。） 検査科 生理検査室

第3 履行期限

令和7年5月30日まで

第4 超音波診断装置に関する性能、機能などに関する要件

下記の主要な機器の性能及び機能に関する要件を満たしていること。

1 超音波診断装置本体について、以下の要件を満たすこと。

- (1) 幅 540mm 以下、奥行き 760mm 以下、高さ 1320-1670mm 以下であること。
- (2) 本体重量は、73kg 以下であること。
- (3) 観察用モニターは、21.5 インチ以上であること。
- (4) ハードウェアキーボードを有すること。
- (5) 超音波 RAW データ構造のフルデジタルシステムであること。
- (6) ソフトウェアビームフォーミング技術を採用していること。
- (7) (2D) B モードについて、以下の特徴を持っていること。
 - ア グレースケールパラメータは、リアルタイム画像及び保存再生画像で変更調整可能（ゲインなど）であること。
 - イ リアルタイムにコントラスト、TGC、グレースケールを調整し、B モード画像を最適化できること。
 - ウ セクタ頂点が台形になり近視野の画像表示範囲を拡大できること。
- (8) M モードについて、以下の特徴を持っていること。
 - ア 表示フォーマットは、上下、左右及び全画面 M モードが選択可能でリアルタイム及び保

存画像からも変更可能であること。

イ 任意方向での M モード作成がリアルタイム及び保存画像からも可能であること。

(9) カラー/パワー Dopラモード/ストレインエラストグラフィについて、以下の特徴を持っていること。

ア 保存されたカラー又はカラー M モード画像のレビューにおいてカラーゲイン、ティッシュプライオリティ等の再調整が可能であること。

イ 同時相の白黒 2D とカラー 2D の同時表示は、リアルタイム及び保存再生画像で可能であること。

ウ ドプラ法によらず血流をグレースケールでリアルタイム表示できること。

(10) パルス/連続波 Dopラモードについて、以下の特徴を持っていること。

ア 表示フォーマットは、上下、左右及び全画面波形が選択可能でリアルタイム及び保存画像からも変更可能であること。

イ スペクトラル波形において、ベースライン、速度レンジを自動調整できること。

(11) 計測について、以下の特徴を持っていること。

ア 心尖 3 断面それぞれの断面上で自動指定又は 3 点指定することにより自動トラッキングし心筋収縮の解析結果をブルズアイ表示が可能であること。

イ 右心室の縦方向グローバルストレイン、自由壁ストレイン、セグメンタルストレインの定量データを算出できること。

ウ 左心房の縦方向のグローバルストレインの定量的データを算出できること。また、LA ボリュームと心腔の Emptying Rate を算出できること。

エ 自動で EF を算出できること。

2 プローブについて、以下の要件を満たすこと。

(1) セクタプローブについて、以下の要件を満たすこと。

ア 周波数帯域は、1-5MHz の範囲内であること。

イ 視野角は、120° 以上であること。

ウ マトリクスアレイ方式であること。

エ シングルクリスタル方式であること。

(2) リニアプローブについて、以下の要件を満たすこと。

ア 周波数帯域は、4-12MHz の範囲内であること。

イ 視野幅 39mm 以上であること。

(3) コンベックスプローブについて、以下の要件を満たすこと。

ア 周波数帯域は、1-6MHz の範囲内であること。

イ 視野角は、70° 以上であること。

3 白黒プリンターについて、以下の要件を満たすこと。

(1) 印刷方式は、感熱記録方式であること。

(2) 本体パネルから操作可能であること。

4 画像解析装置について、以下の要件を満たすこと。

(1) 超音波診断装置とデータ互換性を有し、ポストプロセス機能とデータアーカイブ機能を

有すること。

(2) EchoPAC 拡張機能を有すること。

(3) 超音波診断装置で記録した画像について以下の処理ができること。

ア 2D データからストレインを求める。

イ スペックルトラッキング法を用いて MOD 法で左心室駆出率を自動計測できること。

ウ 心尖 3 断面それぞれの断面上で、自動指定又は 3 点指定することにより自動トラッキング
グし、心筋収縮の解析結果をブルズアイ表示が可能であること。

エ 右心室の縦方向グローバルストレイン、自由壁ストレイン、セグメンタルストレインの
定量データを算出できること。

オ 左心房の縦方向のグローバルストレインの定量的データを算出できること。また、LA ボ
リュームと心腔の Emptying Rate を算出できること。

5 その他、以下の要件を満たすこと。

(1) ゲルウォーマーを有すること。

(2) NAS を有すること。

(3) MWM・ストレージ接続費用を含むこと。

(4) SR 接続費用を有すること。

第 5 性能・機能以外の要件

1 既存のネットワークや画像サーバーに接続が可能であること。なお、接続費用も応札価格に
含むこと。

2 上記のほか、「第 7 納入等に関する諸要件」に基づき対応すること。

第 6 調達機器構成表

No.	調達物品名	数量	備考
	超音波診断装置	1 式	
	【内訳】		
1	超音波診断装置 本体	1 台	
2	セクタプローブ	1 本	
3	リニアプローブ	1 本	
4	コンベックスプローブ	1 本	
5	白黒デジタルプリンタ	1 台	

6	ゲルウォーマー	1 台	
7	超音波画像解析装置	1 台	

第7 納入等に関する諸要件

1 納入要件

- (1) 機器及び付属品は、入札時点で製品化されていること。
- (2) 納入・設置までに機器の仕様変更等がある場合は、その情報を発注者へ提供し、協議のうえ、最新の仕様で引き渡すこと。
- (3) 発注者と協議のうえ、適切な地震対策を施すこと。
- (4) 機器設置において、所轄保健所等関係諸官庁への申請・届出・協議の必要がある場合は、使用開始時期を見極め一連の諸検査・手続き全般の作業を行うこと。また、その費用は、応札価格に含むこと。
- (5) 機器搬入時、必要に応じて搬入経路の壁・床・天井面の養生を施すこと。また、別途指示のあった場合は、その指示に従うこと。
- (6) 機器搬入等に要する光熱水費等の負担については、発注者と協議すること。
- (7) 機器搬入及び据付工事等で、過って小出病院の躯体・設備・器物等に損傷を与えた場合は、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従い、自己の負担において修復すること。
- (8) 納入・設置についての費用は、応札価格に含めること。

2 医療情報システムとの接続

- (1) 当機器と情報システムとの接続が必要な場合は、当機器側のシステムとの接続に要する費用については、発注者と協議のうえ受注者負担とする。また、情報コンセント接続用の LAN パッチケーブルや無線基地局装置等は受注者が用意することとし、ケーブルの色、無線 LAN の設定及びネットワーク接続に必要な設定情報等は、発注者と協議しその指示に従うこと。
- (2) 上記システムと接続するパソコンなどに関しては、ウイルス・セキュリティ対策を行うこと。なお、上記システムで使用する指定のウイルス対策ソフト又はそれと同等以上のものを導入することとし、導入に当たっては発注者と協議し、その指示に従うこと。
- (3) 当機器と上記システムとの接続を行う場合は、受注者は、小出病院で行う総合リハーサルに立ち会い、上記システムとの連携稼働を確認し、必要に応じ修正・改善作業を行ったうえで支障なく稼働させること。

3 保守点検体制

- (1) 機器・付属品等の保証期間は検収後 1 年とし、保証期間内の点検・調整等は無償で行うこと。なお、期間終了前の点検・調整は必須とすること。
- (2) 必要な消耗品及び故障等の部品について、安定供給が確保されていること。
- (3) 必要な消耗品、部品及び故障時等の対応について責任を持つこと。
- (4) 新潟県内にメンテナンス拠点をもち、メンテナンスサービス員が常駐していること。ま

た、24 時間 365 日体制とし、夜間・早朝、休日・祝日を問わず、故障等の障害時にはメンテナンスサービス員が現場に到着し、修理・点検が行える体制を基本とすること。また、持帰り修理や、修理に時間を要する場合等は、必要に応じて代替機を準備すること。

4 教育体制

- (1) 取扱説明書は日本語とし、発注者が要求する部数を用意すること。
- (2) 小出病院関係職員に対して使用説明及び訓練を実施し、安定・安全稼動に関する技術や障害発生時の対応技術等を習得できるよう十分な指導を行うこと。
- (3) 小出病院が運用確認（シミュレーション）等を実施する時は、上記「4 (2)」が十分に理解されているかを確認・指導し、実運営に向けて支障の無いようにサポートすること。
- (4) 機器稼動後一定期間は、発注者の求めに応じて技術者を派遣させ、機器の稼働性能を確認すると共に、小出病院関係職員の使用操作に対し随時指導すること。なお、期間は小出病院と協議すること。
- (5) 安定運用となった後においても、発注者から機器使用指導等の依頼があった場合は、速やかに応じること。

5 その他

- (1) 本仕様書に記載なき事項で疑義が発生した場合は、発注者と協議し解決にあたること。
- (2) 本仕様書に記載なき事項で発注者から追加要請があった場合は、発注者と協議し検討のうえ、対応すること。
- (3) 受注者は、後日別途定める様式により、履行届、納入物品金額内訳書及び納入物品写真を提出すること。